

Dell Command | Update for Windows 10

バージョン 3.0 ユーザーズガイド



メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2009 2018 Dell Inc. またはその子会社。無断転載を禁じます。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 本書について	4
新機能.....	4
2 セットアップ	5
概要.....	5
Dell Command Update のインストール.....	5
Dell Command Update のアンインストール.....	6
Dell Command Update のアップグレード.....	6
サイレントインストール.....	6
アクティビティログ.....	6
アクティビティログの表示とエクスポート.....	7
3 Dell Command Update の開始	8
タイトルバー.....	8
左側ペイン.....	9
コンテンツ領域.....	9
高度なドライバの復元.....	9
4 Dell Command Update の使用	10
ドライバライブラリのダウンロードとインストール.....	10
アップデートのチェックとインストール.....	10
アップデートの選択.....	11
選択のカスタマイズ.....	12
依存関係のインストール.....	13
アップデート履歴.....	13
システムの復元.....	14
アップデート履歴の表示.....	14
システム情報の表示とエクスポート.....	14
5 Dell Command Update 設定	15
一般設定.....	15
アップデートソースの場所.....	16
アップデート設定.....	16
アップデートフィルタ設定.....	16
設定のインポート / エクスポート.....	17
BIOS 設定.....	17
高度なドライバの復元の設定.....	17
6 Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス	18
7 デルへのお問い合わせ	19

本書について

Dell Command | Update を使用して、DELL クライアントシステムの最新アプリケーション、ドライバ、BIOS、ファームウェアをアップデートできます。

その他の製品ガイドについては、dell.com/support/manuals を参照してください。

- 『*Hardware Owner's Manual*』(ハードウェアオーナーズマニュアル) は、システム、システムコンポーネントの取り付け、およびシステムのトラブルシューティングに関する情報を提供します。

新機能

本リリースの Dell Command | Update の新機能および拡張機能は、次のとおりです。

- デル固有の製品およびサービスの向上に役立つ Dell Command | Update 改善プログラムオプション
- Windows の通知サーバを使用する Windows 10 オペレーティングシステムに導入されたユニバーサル Windows プラットフォーム (UWP)
- コマンドラインインターフェイス (CLI) のサポートはなし
- セキュリティ設定の強化

セットアップ

このセクションでは、Dell Command | Update を使用するために必要な要件について説明します。また、このツールの概要、インストールとアンインストールの手順を示します。

トピック：

- 概要
- Dell Command | Update のインストール
- Dell Command | Update のアンインストール
- Dell Command | Update のアップグレード
- サイレントインストール
- アクティビティログ

概要

Dell Command | Update は、Dell クライアントシステムを、最新のアプリケーション、ドライバ、BIOS、ファームウェアでアップデートするための使いやすい GUI ツールです。

Dell Command | Update を使用する場合の長所は次のとおりです。

- Dell クライアントシステムのシステム管理とアップデートを単純化する
- 使いやすい GUI で、システムに適切なドライバとアップデートを識別して適用する
- ドライバとアプリケーションに加えて、BIOS およびファームウェアをアップデートできる

① **メモ:** Dell Command | Update をインストールするには、システムが Microsoft Windows 10 Redstone 1 v1607 オペレーティングシステムで実行されており、ビルド番号が 14393 以上であることを確認する必要があります。

Dell Command | Update のインストール

手順を開始する前に、Dell Command | Update をインストールするクライアントシステムに管理者権限でログインしていることを確認してください。

Dell Command | Update をダウンロードするには、次の手順を実行します。

- 1 dell.com/support にアクセスします。
- 2 **Dell Command | Update 3.0 for Windows 10** を検索します。
- 3 `Sys-Man_Application_XXXXXX_WN_y.y.y_A00.exe` をダウンロードします。ここで、「x」はソフトウェアビルドで、「y」はバージョン番号です。

Dell Command | Update をインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 デルサポートサイトからダウンロードした .EXE ファイルをダブルクリックします。
- 2 **インストール** をクリックします。
- 3 **ようこそ** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 4 **ライセンス契約** 画面で **ライセンス契約の条件に同意します** を選択してから、**次へ** をクリックします。
- 5 **インストールの開始** 画面で、**インストール** をクリックします。
- 6 インストール中に、**改善プログラムへの同意** 画面にある **はい、プログラムに参加します** オプションをクリックして、Dell Command | Update 改善プログラムに参加できます。

- 7 インストールの準備完了 ウィンドウで、**インストール** をクリックします。
- 8 インストール完了 画面で **終了** をクリックします。

Dell Command | Update のアンインストール

次の処置を行います。

- **開始** をクリックします。
- **コントロールパネル** を選択して、**プログラムと機能** をクリックします。
- **Dell Command | Update for Windows 10** を選択して、**アンインストール** をクリックします。

Dell Command | Update のアップグレード

次の方法で Dell Command | Update をアップグレードできます。

- **セルフアップデート** : ようこそ 画面の **チェック** 機能を使用して、アップデートをチェックします。詳細については、「**アップデートのチェックとインストール**」を参照してください。
- **手動アップデート** : dell.com/support から Dell Command | Update 3.0 をダウンロードしてインストールします。

Dell Command | Update の新しいバージョンがある場合、**推奨されるアップデート** の下に Dell Command | Update の最新バージョンが表示されます。アップデートを選択して、アプリケーションの新しいバージョンをインストールします。

① **メモ**: マイナーなアップグレードの場合は、**プリファランス設定およびポリシーは保持されます。**

① **メモ**: メジャーなアップグレードの場合は、**アプリケーションがアンインストールされ、設定およびデータが削除されます。**

サイレントインストール

次のいずれかの方法で、Dell Command | Update のサイレントインストールを実行できます。

- コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して、`DCU_Setup_3_0_0.exe /s /v"/qn"` コマンドを実行します。
- Dell Update Package (DUP) にある実行可能ファイル `Sys-Man_Application_XXXXX_WN_y.y_A00.exe /s` を実行します。ここで、「x」はソフトウェアのビルドで、「y」はバージョン番号です。

① **メモ**: Dell Command | Update のサイレントインストール中は、**デフォルトでテレメータオプションは無効になっています。**

アクティビティログ

アクティビティログは、システムにインポートされたアップデートを表示し、エラーや問題を追跡するのに役立ちます。Dell Command | Update で生成されたアクティビティは、次のように分類されます。

- 通常 - 通常メッセージには、アップデートまたはエラーの細かな詳細情報が記述されています。
- デバッグ - デバッグメッセージには、アップデートまたはエラーの詳細情報が記述されています。

ActivityLog.xml は、`C:\ProgramData\Dell\UpdateService\Log` に .XML 形式のテキストファイルとして保存されます。

ログのルート要素には、システムにインストールされている製品の名前とバージョンが含まれています。ルート要素の下の子要素は次のように表示されます。

表 1. ルート要素の下の要素

エレメント名	説明
<level>	アクティビティログのレベル。
<timestamp>	アクティビティが作成されたときのタイムスタンプ。

エレメント名	説明
<source>	アクティビティを生成したアプリケーション操作。
<message>	アクティビティの詳細情報。
<data>	アクティビティの追加情報を示します。

アクティビティログの表示とエクスポート


アクティビティログを表示およびエクスポートするには、次の手順を実行します。

- 1 **ようこそ** 画面で、**アクティビティログ** をクリックします。
アクティビティログ 画面が表示されます。
デフォルトでは、過去 7 日、15 日、30 日間、90 日、または、1 年間に実行されたアクティビティが表示されます。期間を設定するには、ドロップダウンから選択します。
- 2 ドロップダウンリストから、更新アクティビティを表示する日数を選択します。例えば、**過去 15 日** を選択すると、今日までの過去 15 日間に Dell Command | Update で実行されたアップデートアクティビティを表示できます。
 - ① **メモ:** ⓘ をクリックすると、アプリケーションのエラーメッセージなど、メッセージログエントリに関する詳細情報を表示できます。この情報は、エクスポートされたログファイルでも利用できます。
 - ① **メモ:** エラーまたは障害ログエントリの横にある **注意** をクリックして、可能性のある破損または問題を回避する方法についての情報を表示します。
- 3 日付またはメッセージタイプ順に列の順序を変更または並べ替えるには、**日付** または **メッセージ** の横にある ▼ をクリックします。
- 4 **エクスポート** をクリックすると、アクティビティログが .XML 形式でエクスポートされます。
- 5 **保存** をクリックして変更を保存する、または **キャンセル** をクリックして前回保存された設定に戻します。
- 6 **閉じる** をクリックすると、**ようこそ** 画面に戻ります。

Dell Command | Update の開始

Dell Command | Update を手動または自動で初めて起動すると、Dell Command | Update – セットアップ 画面にアップデートを検出、確認、インストールのために、次のオプションが表示されます。

表 2. セットアップオプション

オプション	説明
はい、デフォルト設定で自動的に実行します (推奨)	<p>デフォルト設定を使用し、アップデートを自動的にチェックします。</p> <p>① メモ: デフォルト設定を表示するには、設定アイコン  をクリックして、スケジュール タブ の自動的にアップデートをチェックするに設定を表示します。</p> <p>① メモ: このオプションは、デフォルトで選択されています。</p>
いいえ、今は Dell Command Update でアップデートを自動的にチェックしません	Dell Command Update は、アップデートを自動的にチェックしません。

システムをデルの工場から受け取ると、システムが 4 回起動し、利用可能なすべてのアップデートをスキャンした後に、Dell Command | Update が自動的に起動します。このケースでは、よろこ画面には **アップデートのチェック** 機能はありませんが、インストール可能なアップデートのリストが表示されます。

① **メモ:** Dell Command | Update は、次の場合にのみ自動的に起動します。

- Dell Command | Update が工場出荷時にインストールされている場合。
- Dell Command | Update が手動で起動されていない場合。


トピック :

- [タイトルバー](#)
- [左側ペイン](#)
- [コンテンツ領域](#)

タイトルバー

このタイトルバーには、製品の名前とバージョン番号、および各アクティビティのアイコンが表示されます。

表 3. タイトルバーのアイコン

アイコン	説明
	設定 画面が表示されます。設定 画面では、ダウンロードしたファイルの保管場所の更新、アップデートのスケジュール作成、アップデートのカスタマイズなど、Dell Command Update のオプションをカスタマイズできます。
—	アプリケーションを最小化します (すべての画面の右上隅にあります)。

アイコン	説明
□	アプリケーションを最大化します (すべての画面の右上隅にあります)。
×	アプリケーションを閉じます (すべての画面の右上隅にあります)。

左側ペイン

次の表は、よろこ画面の左側ペインにある使用可能なオプションの一覧とその説明です。

表 4. 左側ペイン

オプション	説明
システムモデル	DELL システムのイメージとモデルが表示されます。
サービスタグ	システムの製造元による製品 ID が表示されます。
最後のチェック	システムのアップデートを最後にチェックした日時情報が表示されます。
最後のアップデート	システムが最後にアップデートされた日時情報が表示されます。
アップデート履歴	アップデート履歴 画面が表示されます。 「 アップデート履歴 」を参照してください。
システム情報	システム情報 画面が表示されます。 「 システム詳細の表示とエクスポート 」を参照してください。
アクティビティログ	アクティビティログ 画面が表示されます。 「 アクティビティログ 」を参照してください。
ご意見をお聞かせください	Dell Command Update についてのフィードバックと満足度評価をご提供いただけるオンラインアンケートが起動します。

コンテンツ領域

コンテンツ領域からアップデートをチェックしてインストールできます。

詳細については、「[アップデートのチェックとインストール](#)」を参照してください。また、ドライバライブラリをダウンロードしてインストールすることもできます。詳細については、「[高度なドライバの復元](#)」を参照してください。

高度なドライバの復元

Windows 再インストールのための高度なドライバの復元 オプションを使用すると、新規システムまたは再イメージ化されたシステムに、新しい Windows イメージ、ネットワークアダプタ (互換性のあるネットワークドライバ搭載)、Dell Command | Update のインストールとともにドライバをインストールできます。

詳細については、「[ドライバライブラリのダウンロードとインストール](#)」を参照してください。

Dell Command | Update の使用

ドライバライブラリのダウンロードとインストール

DELL システムにドライバライブラリをダウンロードしてインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 ようこそ 画面で、**ここをクリックしてドライバライブラリ全体をダウンロードしてインストール** オプションをクリックします。

① **メモ:** システムのプロファイルライブラリ全体をダウンロードするプロセスは自動化されています。

① **メモ:** このプロセスは、従量制のネットワーク接続を使用している場合、コストがかかる場合があります。

ドライバの復元を準備中 画面が表示され、ドライバがインストールされます。インストール中に表示されるさまざまなステータスメッセージを次に示します。

- コンポーネントアップデートのチェック — 使用可能なドライバライブラリをチェックします。
- システムデバイスのスキャン — システムをスキャンして、システム上に存在するデバイスに関する情報を収集します。
- システムドライバライブラリの検索 — システム上のドライバライブラリを検索し、ドライバのバージョンをチェックして、システムに使用できるドライバアップデートを判断します。
- ダウンロードの開始 - アップデートのダウンロードを開始します。
- ドライバの抽出 — アップデートがダウンロードされたら、システムへインストールするためにアップデートを解凍します。
- インストールの準備 — オペレーティングシステムでデジタル署名を検証し、復元ポイントを作成します。
- ドライバのインストール - インストール状態は x / y 形式で表示され、ここで「x」はインストールされているドライバの数、「y」は使用可能なドライバの合計数を示します。**システムを自動的に再起動する (必要な場合)** チェックボックスを選択して、ドライバのインストール後にシステムを自動で再起動します。
- インストール完了 — y / x が正常に行われましたという形式でドライバインストールの完了を示します。ここで「x」はインストールされたドライバの数、「y」は使用可能なドライバの数です。

このアクティビティを終了するには、**キャンセル** をクリックしてして **ようこそ** 画面に戻ります。

- 2 ドライバのインストール完了後、**閉じる** をクリックして **ようこそ** 画面に戻ります。

システムドライバの最新バージョンへのアップデートについての詳細は、「**アップデートのチェックとインストール**」を参照してください。

アップデートのチェックとインストール

DELL システムでアップデートを確認してインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 **ようこそ** 画面で、**チェック** をクリックします。

Inventory Collector は自己完結型のアプリケーションで、システムのハードウェア情報の収集に使用されます。Inventory Collector は、BIOS、ファームウェア、ドライバのインベントリステータスを収集します。インベントリステータスの形式は .XML 形式です。Inventory Collector は、インベントリモジュールをシステムのローカルドライブの一時的な場所にコピーし、ネットワーク接続が失われても、インベントリステータス収集が実行されるようになります。

- a Dell Command | Update は、downloads.dell.com または設定したその他のソース場所に接続し、アップデートの有無をチェックします。
- b **キャンセル** をクリックすると、アップデートをチェックせずに前の画面に戻ります。ソース場所の変更についての情報は、「**一般設定**」を参照してください。

アップデートの確認 タスクが開始し、**アップデートの確認** 画面が表示されます。

アップデートの確認 タスクでは次の処理が行われます。

- コンポーネントのアップデートのチェック
- システムデバイスのスキャン
- 使用可能なアップデートのチェック

アップデートのチェック 画面には、システムスキャンのステータスが表示されます。アップデートが見つかったら、Dell Command | Update がアップデートをインストールするためのプロンプトを表示します。

アップデートが検出されない場合は、**使用可能なアップデートがありません** 画面が表示され、システム上のデバイスが最新の状態であることを示します。**閉じる** をクリックして Dell Command | Update を終了します。

設定したアップデートの可用性と設定に基づいて、**使用可能なアップデートがありません** というメッセージが表示されます。このメッセージは、次のシナリオで次のように表示されます。

- デフォルトの **ダウンロードフィルタ** プリファランスを維持しており、使用できるアップデートがない場合。
- すべての使用可能なアップデートが非表示に選択されている場合。

① **メモ:** 詳細表示 画面でアップデートをチェックするには、**表示** をクリックします。**閉じる** をクリックして、**選択したアップデート** 画面に戻ります。

デフォルトの **ダウンロードフィルタ** プリファランスを変更した場合、および使用できるアップデートがない場合には、**使用可能なアップデートがありません (現行の「ダウンロードフィルタ」の設定に基づく)** というメッセージが表示されます。

アップデートが見つかった場合は、**選択したアップデート** 画面が表示されます。詳細に関しては、「**アップデートの選択**」を参照してください。

- 2 **詳細を表示** をクリックして、システムにインストールするアップデートを選択します。**選択のカスタマイズ** 画面が表示されます。詳細に関しては、「**アップデートのカスタマイズ**」を参照してください。
- 3 (オプション) アップデートのインストール後に Dell Command | Update が自動的にシステムを再起動するように設定するには、**システムを自動的に再起動する (必要な場合)** を選択します。
- 4 **インストール** をクリックして、選択したアップデートをシステムにインストールします。

① **メモ:** インストール中に **キャンセル** をクリックした場合、Dell Command | Update は、すでに適用されているアップデートをロールバックせず、よろこ 画面に戻ります。

新規または再イメージ化されたシステムにアップデートをインストールするには、「**高度なドライバの復元の設定**」を参照してください。

アップデートの選択

よろこ 画面 で **チェック** をクリックすると、**アップデートのチェック** タスクが実行され、システムに使用可能なアップデートがあれば、**選択したアップデート** 画面が表示されます。アップデートの概要は、update type <x of y, z MB> の形式で見出しの横に表示され、「x」がダウンロードしたアップデートの数、「y」は利用できるアップデート数、「z」は使用可能なアップデートのサイズ (MB) を示します。重要度に基づいて、アップデートは、次のように分類されます。

- **重要なアップデート** - システムの信頼性、セキュリティ、可用性の向上のために重要なアップデートです。
- **推奨されるアップデート** - システムへのインストールが推奨されるアップデートです。
- **オプションのアップデート** - オプションのアップデートです。
- **Dell ドッキングソリューション** - Dell ドッキングソリューションのためのアップデートです。

① **メモ:** Dell ドッキングソリューションのオプションが選択されている場合 :

- Dell ドッキングソリューション用アップデートは、**選択のカスタマイズ** 画面からクリアすることはできません。
- **自動的にシステムを再起動 (必要な場合)** オプションが選択されており、クリアできません。
- システムは複数回再起動して、インストールを続行する場合があります。
- 1つ以上のカテゴリ (重要、推奨、任意) が選択されており、アップデートが Dell ドッキングソリューションの一部である場合はクリアできません。
- Dell ドッキングソリューション用に利用可能なアップデートがない場合は、Dell ドッキングステーションのオプションは表示されません。

① **メモ:** 次の場合に警告が表示されます。




- インストールするアップデートにアップデートの中間バージョンが必要な場合。アップデートに複数の相互依存関係がある場合、Dell Command | Update は最新バージョンをインストールします。ただし、最新バージョンがない場合があります。このタスクでは、最新アップデートのバージョンをインストールするために、複数のアップデートサイクルが必要となります。詳細については、「[依存関係のインストール](#)」を参照してください。
- BitLocker がシステムで有効になっているため、一部のアップデートがブロックされます。コントロールパネルから、BitLocker を一時停止してインストールを続行します。デルでは、アップデートのインストール後に BitLocker を再開することを推奨します。
- 一部のアップデートは、電源アダプタがシステムに接続されていないとインストールできません。

選択のカスタマイズ

選択されたアップデート画面で、**詳細表示** をクリックして **選択のカスタマイズ** 画面を表示します。この画面には、システムに適用するアップデートの選択に役立つコンポーネントの名前、サイズ、リリース日など、すべての利用可能なアップデートの詳細情報が一覧表示されます。アップデートは、割り当てられている重要度に基づいてグループ化されています。






以下の表は、この画面上にあるオプションを示しています。

表 5. 選択のカスタマイズオプション

ユーザーインターフェース	説明
重要なアップデート (x/y、サイズ)	システムに適用できる重要なアップデートを表示します。重要アップデートの選択を変更することもできます。アップデートには次の情報が含まれています。 <ul style="list-style-type: none">アップデートの名前。アップデートのサイズ - アップデートのダウンロードに必要なバイト数の概算を表示します。アップデートのリリース日。中間のアップデートが必要な場合は、警告メッセージが表示されます。詳細を表示するには、詳細表示 に移動します。ツールチップ  に、アップデートパッケージの詳細が表示されます。
推奨アップデート (x/y、サイズ)	システムで使用可能な推奨されるアップデートが表示されます。アップデートには次の情報が含まれています。 <ul style="list-style-type: none">アップデートの名前。アップデートのサイズ - アップデートのダウンロードに必要なバイト数の概算を表示します。アップデートのリリース日。中間のアップデートが必要な場合は、警告メッセージが表示されます。詳細を表示するには、詳細表示 に移動します。ツールチップ  に、アップデートパッケージの詳細が表示されます。
オプションアップデート (x/y、サイズ)	システムで使用可能なオプションのアップデートが表示されます。アップデートには次の情報が含まれています。 <ul style="list-style-type: none">アップデートの名前。アップデートのサイズ - アップデートのダウンロードに必要なバイト数の概算を表示します。アップデートのリリース日。中間のアップデートが必要な場合は、警告メッセージが表示されます。詳細を表示するには、詳細表示 に移動します。ツールチップ  に、アップデートパッケージの詳細が表示されます。
すべて選択	インストールするすべての重要、推奨、任意のアップデートを選択します。 <p>① メモ: 一部のアップデートでは、電源アダプタがシステムに接続されている必要があります。</p>

この画面には、この他に以下のオプションがあります。

表 6. 選択のカスタマイズオプション

ユーザーインターフェース	説明
	このアイコンがアップデートの横に表示されている場合は、アップデートをパッケージを適用するために電源アダプタをシステムに接続してください。これはノートブックまたはタブレットシステム上の BIOS またはファームウェアアップデートの場合のみに限られます。
	アップデートの横にこのアイコンが表示される場合は、アップデートパッケージの適用のために、システムの コントロールパネル から BitLocker を一時停止してください。 ① メモ: デルでは、アップデートをシステムにインストールした後に BitLocker を再開することを推奨します。
	クリックすると、アップデートパッケージについての追加詳細情報を示すツールチップが表示されます。
	dell.com/support のウェブページをクリックして開き、このアップデートパッケージに関する詳細を確認してください。
	このアイコンがアップデートの横に表示されている場合は、ドッキングソリューションのアップデートであることを示しています。

アップデートの横にあるチェックボックスを使用して、アップデートパッケージを選択します。列の一番上にあるチェックボックスは、**選択のカスタマイズ** 画面の全アップデートの選択を切り替えます。

依存関係のインストール

Dell Command | Update は、アップデートパッケージを使用して、システムの最新アップデートを判断します。アップデートパッケージには、BIOS、ファームウェア、ドライバ、ソフトウェアなどの拡張機能や変更が含まれています。通常、アップデートは自立しており、プレインストールを実行して適切な依存関係を維持します。ただし、次のように、アップデートに依存性がある場合があります。

- **内部依存関係**：内部依存関係にあるアップデートとは、BIOS などタイプが同じアップデートで、複数回におよぶスキャンおよびアップデートが必要なため、一定の順序にしたってインストールまたはアップデートを行う必要があるアップデートです。

例えば、システムにバージョン A01 の BIOS がインストールされており、バージョン A05 が利用可能なアップデートで、バージョン A03 がバージョン A05 の前提条件であるとして。この場合はまず、システムをバージョン A03 に更新する必要があります。Dell Command | Update は、システムをバージョン A03 にアップデートしてから、アップデートをバージョン A05 にアップデートします。

① | メモ: ユーザーによるシステムアップデートの開始後、利用可能な最新バージョンへのアップデートが完了するまでに、システムのアップデートサイクルが複数回必要です。

- **相互依存関係**：コンポーネントのアップデートにアップデートタイプの異なる別の依存コンポーネントのアップデートが必要な場合は、選択コンポーネントを推奨バージョンにアップデートする前に、依存コンポーネントをアップデートする必要があります。

例えば、システムでファームウェアのアップデートが必要であるとして。システムのファームウェアをアップデートするには、まずシステム BIOS を必要な最小バージョンにアップデートする必要があります。Dell Command | Update は、システムのファームウェアをアップデートする前に、システム BIOS を必要なバージョンにアップデートします。

① | メモ: アプリケーションによるシステムアップデートの開始後、利用可能な最新バージョンへのアップデートが完了するまでに、システムのアップデートサイクルが複数回必要です。

- ① **メモ:** インストールするアップデートに依存関係がある場合、Dell Command | Update はアップデートプロセス中に重要アラートで通知を行います。

- ① **メモ:** 非依存型と相互依存型のアップデートは、内部依存型アップデート前にインストールされます。

アップデート履歴

アップデートの履歴 画面には、これまでにシステムにインストールされたアップデートの詳細が表示されます。表示される詳細には、コンポーネントの名前、コンポーネントの種類、アップデートされた日付、システムで利用可能なコンポーネントの現在または最新のバージョンなどがあります。アップデートをイ

インストールすると、Dell Command | Update は、オペレーティングシステム内に DELL Updates という名前の復元ポイントを作成します。復元ポイントとは、システムのファイル、インストールされたアプリケーション、Windows レジストリに対するアップデートを元に戻すために使用するタイムスタンプです。復元ポイントのリストは **システムの復元** ウィンドウで表示することができます。

システムの復元

システムの復元 ウィンドウを使用しても、システムに行った一連のアップデートを元に戻すことができます。

- ① **メモ:** BIOS またはファームウェアのアップデートは、ハードウェアに保存されるため、システムの復元 ウィンドウを使用しても元に戻すことはできません。
- ① **メモ:** 詳細については、システムの復元に関する [Microsoft 文書](#) を参照してください。

アップデート履歴の表示

アップデートの履歴を表示するには、次の手順を実行します。

- 1 **よろこ** 画面で、**アップデートの履歴** をクリックします。
アップデートの履歴 画面が表示されます。
複数のアップデートが存在する場合は、各行の長さをそれぞれ変更して詳細を表示することができます。
- 2 **閉じる** をクリックして、**よろこ** 画面に戻ります。

システム情報の表示とエクスポート

システム情報を表示およびエクスポートするには、次の手順を実行します。

- 1 **よろこ** 画面で、**システム情報** をクリックします。
システム情報 画面にはシステムの詳細情報が表示されます。
- 2 **システム詳細のエクスポート** をクリックすると、システムの詳細が .XML 形式で保存されます。
- 3 **閉じる** をクリックすると、**よろこ** 画面に戻ります。

Dell Command | Update 設定

設定 画面で、アップデートのダウンロードと保管場所、アップデートフィルタ、アップデートのダウンロードスケジュール、インターネットプロキシ、設定のインポートまたはエクスポート、ドライバライブラリのダウンロード場所を設定およびカスタマイズすることができます。この画面には、次のタブがあります。

- **一般** — アップデートおよびインターネットプロキシ設定をダウンロードして保管する場所の設定と変更についての情報は、「[一般設定](#)」を参照してください。
- **アップデート設定** — システムアップデートのスケジュール設定についての情報は、「[アップデート設定](#)」を参照してください。
- **アップデートフィルタ** — スケジュールされたアップデートのフィルタオプションの変更と保存についての情報は、「[アップデートフィルタ設定](#)」を参照してください。
- **インポート/エクスポート** — 設定のインポートおよびエクスポートについての情報は、「[設定のエクスポートまたはインポート](#)」を参照してください。
- **高度なドライバの復元** — ドライバライブラリをダウンロードする場所の設定についての情報は、「[高度なドライバの復元の設定](#)」を参照してください。
- **BIOS** — BIOS パスワードをアプリケーション設定として保存する方法については、「[BIOS 設定](#)」を参照してください。
- **サードパーティのライセンス** - 作成時に使用されたオープンソースソフトウェアの情報と認証を表示することができます。

デフォルトの復元 をクリックして、元のデフォルト設定に戻します。

① **メモ:** 管理者によってポリシーが適用された場合は、**デフォルトの復元** オプションは無効になります。

トピック :

- [一般設定](#)
- [アップデート設定](#)
- [アップデートフィルタ設定](#)
- [設定のインポート/エクスポート](#)
- [BIOS 設定](#)
- [高度なドライバの復元の設定](#)

一般設定

一般 タブでは、保管場所およびダウンロード場所をアップデートし、インターネットプロキシを設定または変更することができます。一般設定を行うには、次の手順を実行します。

- 1 タイトルバーで、**設定** をクリックします。
設定 画面が表示されます。
- 2 ① **メモ:** Dell Command | Update は、**アップデートをインストールした後、この場所からアップデートファイルを自動的に削除します。**
ダウンロードファイルの場所 で、**参照** をクリックして、ダウンロードしたアップデートを保存するためのデフォルトの場所を設定するか、デフォルトの場所を変更します。
- 3 **アップデートのソースの場所** の下で、**新規** をクリックして、アップデートをダウンロードする場所を追加します。詳細については、「[アップデートソースの場所](#)」を参照してください。
- 4 必要に応じて、インターネットプロキシ設定を行います。
 - 現在のインターネットプロキシ設定を使用するには、**現在のインターネットプロキシ設定を使用** を選択します。
 - プロキシサーバとポートを設定するには、**カスタムプロキシ設定** を選択します。プロキシ認証を有効にするには、**プロキシ認証を使用** チェックボックスをオンにして、プロキシサーバ、プロキシポート、ユーザー名、パスワードを入力します。

① **メモ:** ユーザー名とパスワードの資格情報は暗号化されて保存されます。

- 5 テレメータにオプトインするには、一般 セクションの **ユーザーの同意** 下にある **デルの製品およびサービスを向上する目的で、デルが情報を収集し、その情報を使用することを許可します** オプションを選択します。
 - ① **メモ:** テレメータは、アプリケーションで実行される操作に関するデータを収集します。アップデートに失敗した場合、アプリケーションは通知を行い、リアルタイムの問題を解決します。これにより、カスタマーコールサービスを削減します。テレメータ機能にオプトインすると、Dell Command | Update の改善のために、デルが積極的に対策を取ることができます。
 - ① **メモ:** テレメータは、個人を特定できる情報 (PII) は収集しません。
- 6 **Ok** をクリックして変更を保存するか、または **キャンセル** をクリックして、設定を破棄してから **よろこ** 画面に戻ります。
 - ① **メモ:** Dell Command | Update が対話型実行で動作している場合、設定時刻後にスケジューラがアップデートをチェックするには Dell Command | Update を閉じる必要があります。これは、アプリケーションのインスタンスが一度に 1 つだけしか実行できないため、スケジューラインスタンスが対話型インスタンスによってブロックされるためです。

アップデートソースの場所

アップデートソースの場所 には、設定されているすべてのアップデートソースの場所のリストが表示されます。デフォルトの場所は、downloads.dell.com です。ただし、Dell Command | Update の複数のソース場所を追加し、アクセスしてアップデートを確認することができます。

ソースの場所を追加するには、**新規** をクリックし、ファイルの場所に移動して、`catalog.xml` ファイルを選択します。選択したカタログファイルが、ソース場所のリストに追加されます。ソース場所エントリに関連付けられている上下の矢印をクリックして、これらの場所に優先順位を付けます。**削除** をクリックして、リストからソース場所のパスを削除します。

- ① **メモ:** Dell Command | Update は、最初のソース場所またはカタログを使用して、正常にロードします。Dell Command | Update は、リストされている各ソース場所は読み込まず、その内容を集約します。Dell Command | Update は、Dell.com サイトで利用できないソース場所の署名はチェックしません。

アップデート設定

Dell Command | Update を、システムアップデートを自動的にチェックするように設定することができます。アップデートをチェックするためのスケジュールを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 タイトルバーで、**設定** をクリックします。
- 2 **設定** 画面で、**アップデート設定** をクリックします。
- 3 **アップデートを自動的にチェック > アップデートのチェック** で、次のいずれかを選択します。
 - **手動アップデートのみ** - このオプションを選択した場合、Dell Command | Update はスケジュールされたアップデートを実行せず、このページのその他すべてのフィールドが非表示になります。アップデートのチェックを手動で行うには、よろこ画面で、**チェック** をクリックします。
 - **自動アップデート** - このオプションを選択した場合、Dell Command | Update は自動アップデートを実行します。
- 4 **アップデートをダウンロードしてインストール (完了後に通知)** を選択した場合は、システムを自動的に再起動させるまでの時間間隔を選択します。
- 5 **Ok** をクリックして変更を保存するか、または **キャンセル** をクリックし、設定を戻してから **よろこ** 画面に戻ります。アップデートをチェックするアクティビティをスケジュールした後でアップデートが使用可能になると、アップデートのリストが **インストールの準備完了** 画面に表示されます。

- ① **メモ:** Dell Command | Update を終了して、アップデートのスケジュールを実行します。

アップデートフィルタ設定

アップデートフィルタ タブで、アップデートのダウンロードおよび表示のためのフィルタを構成することができます。アップデートフィルタを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 タイトルバーで、**設定** をクリックします。
- 2 **設定** 画面で、**アップデートフィルタ** をクリックします。

- 3 **ダウンロード対象** から次のいずれかのオプションを選択します。
 - **このシステム設定のアップデート (推奨)** — このオプションを選択して、お使いのシステムの設定に固有のアップデートをダウンロードします。
 - **システムモデル向けの全アップデート** — このオプションを選択して、システムモデルがサポートする全デバイスのアップデートをダウンロードします。
- 4 **アップデートのカスタマイズ** で、アップデート推奨レベル、アップデートのタイプ、デバイスカテゴリを選択します。
- 5 **Ok** をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこそ** 画面に戻ります。

設定のインポート / エクスポート

インポート / エクスポート タブを使用すると、設定を .XML ファイル形式で保存することができます。XML ファイルを使用することにより、別のシステムに設定を転送したり、別のシステムからインポートしたりすることもできます。これらの .XML ファイルを使用して、組織内にインストールされているすべての Dell Command | Update インスタンスに共通した設定を作成することができます。

設定をインポートまたはエクスポートするには、次の手順を実行します。

- 1 タイトルバーで、**設定** をクリックします。
- 2 **設定** 画面で、**インポート / エクスポート** をクリックします。
- 3 **設定のエクスポート** をクリックして、Dell Command | Update 設定を .XML 形式でシステムに保存します。
- 4 **設定のインポート** をクリックして、以前にエクスポートした設定ファイルから Dell Command | Update 設定をインポートします。
- 5 **Ok** をクリックして変更を保存するか、または **キャンセル** をクリックして、設定を戻してから **よろこそ** 画面に戻ります。

BIOS 設定

- 1 タイトルバーで、**設定** をクリックします。
- 2 **設定** 画面で、**BIOS** をクリックします。
- 3 **システムパスワード** ウィンドウの **パスワード** フィールドに値を入力します。**パスワード** フィールドを表示するには、**パスワードを表示** をクリックします。
 - ① **メモ:** パスワードフィールドの値は、**設定** タブを閉じて再度開いた場合でも引き続き表示されます。
 - ① **メモ:** BIOS で **システムパスワード** が設定されている場合は、**BIOS アップデート** を実行するためにパスワードが必要です。
- 4 **デフォルトの復元** をクリックして、**パスワード** フィールドが空欄であることを確認します。

高度なドライバの復元の設定

高度なドライバの復元 タブでは、新品または整備済みシステム用にドライバライブラリをダウンロードする場所を設定することができます。高度なドライバの復元を設定するには、次の手順に従います。

- 1 タイトルバーで、**設定** をクリックします。
- 2 **設定** 画面で、**高度なドライバの復元** をクリックします。
- 3 **有効** をクリックして、**よろこそ** 画面の **Windows 再インストールのための高度なドライバの復元** オプションを有効化します。この機能は、デフォルトで次のようになります。
 - システムへの Dell Command | Update のインストール時に有効化されます。
 - Dell Command | Update が工場出荷時にインストールされている場合は無効にされています。システムでのドライバのインストール後、この機能は無効になります。
- 4 次のいずれかのオプションを選択します。
 - **dell.com/support** サイトからドライバライブラリをダウンロードする (推奨)。
 - **指定されたドライバライブラリを使用** : ドライバライブラリをローカルまたはネットワーク上の場所からダウンロードするには、次の操作を実行します。**参照** をクリックして場所を指定します。
- 5 **Ok** をクリックして変更を保存するか、または**キャンセル** をクリックして、前回保存された設定に戻してから **よろこそ** 画面に戻ります。

Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス

必要なドキュメントに、次のリンクを使用してアクセスできます。

- Dell EMC エンタープライズシステム管理のドキュメント — www.dell.com/SoftwareSecurityManuals
- Dell EMC OpenManage のドキュメント — www.dell.com/OpenManageManuals
- Dell EMC リモートエンタープライズシステム管理のドキュメント — www.dell.com/esmmanuals
- iDRAC および Dell EMC Lifecycle Controller のドキュメント — www.dell.com/idracmanuals
- Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズシステム管理のドキュメント — www.dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
- Dell EMC 保守ツールのドキュメント — www.dell.com/ServiceabilityTools
- a www.dell.com/Support/Home にアクセスします。
- b **すべての製品から選択** をクリックします。
- c **すべての製品** セクションで **ソフトウェアおよびセキュリティ** をクリックして、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **エンタープライズシステム管理**
 - **リモートエンタープライズシステム管理**
 - **保守ツール**
 - **Dell Client Command Suite**
 - **Connections Client Systems Management**
- d ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

デルへのお問い合わせ

① **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

- 1 **Dell.com/support** にアクセスします。
- 2 サポートカテゴリを選択します。
- 3 ページの下部にある **国 / 地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
- 4 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。